



○ 名古屋市腎友会のめざすもの

「命と暮らし」を守るために名古屋版「新腎疾患対策」を提言します。

1. 障害者すべてが介護・支援が保証される制度の確立
2. 院内感染など医療事故予防の徹底を図る
3. 安心して透析が受けられる医療の質の確保
4. 臓器移植推進と普及啓発活動運動の強化
5. 災害時、透析患者が安心して透析を受けられる施設の確保
6. ハートプラスマークの設置を推進を図る

実現に向けて名古屋市役所・各区役所の福祉課に働きかけると共に国会議員、県会議員、市会議員を訪問して働きかける。

次に医療関係者と懇談し、理解を深める。各区の障害者地域自立支援協議会に参加して活動を積極的に協力する。



○ 障害者よ今こそ立ち上がれ！！

今年の4月から始まった後期高齢者医療制度は様々な問題を含んだままスタートしました。その結果、国民から大きな批判の声があがり、政府はすぐに見直し案を提示してきました。それでも、なお、納得できない箇所がいくつかあります。

今後、高齢化社会を迎えて益々医療費が増大するなかで、国民皆保険制度は堅持しなければなりません。そのためにも今後納得できる見直しをおこない、十分な説明と不公平のない制度になるようNPO名古屋市腎友会は取り組んで行きます。

